県農産物加工食品コンクールで熊本県知事賞（金賞）に！

令和２年度熊本県農産物加工食品コンクールにおいて、山の未来舎（菅尾）の、山都セレクト認定商品の「パストラミビーフ」が見事に金賞（県知事賞）を受賞されました。また、モッツァレラチーズの「うしのたまご」では、銀賞も受賞されました。山口さんは、「今回このような賞をいただき大変うれしく思います。この受賞を励みに今後に向けてさらにおいしい商品を目指し頑張りたい。」と話されました。山の未来舎は自家製の牛肉・生乳を使い、無添加での製造を行われています。実店舗ではカフェも経営されており、今回受賞した食品を使った料理をその場で堪能することができます。他にも工房で作った乳製品や肉製品も購入できます。

うがい茶使って感染症予防！

11月27日、金内保育園で、うがい茶の贈呈式が行われ、山都町茶振興会の渡辺憲治副会長から贈呈されました。園児たちは、さっそく、うがい茶で「うがい」をしました。

山都町茶振興会では、毎年風邪やインフルエンザの予防として、山都町内の保育園、小・中学校にうがい用のお茶を配布されています。副会長の渡辺さんは、「今年は、新型コロナウイルスの予防にも役立ててもらいたい。」と話されていました。

うがい茶は、生産農家の方々に無料で提供していただいたお茶を、渋みを少なくして、うがいしやすいように加工してあります。

ジャングルジムがやってきた!

ジャングルジムを囲む、中島小の児童と先生
（11月27日）

NPO法人児童夢基金から、中島小にすべり台付きのジャングルジムが寄贈されました。同基金は、困難に直面する子どもたちの体験活動を支援することを目的に設立されており、全国の企業やアーティストが協賛しています。熊本地震からの復興支援にも熱心で、同小からの希望が採択されたものです。同基金の主催で9月19日に東京で開催されたコンサートでは、同小6年の児童たちからのビデオメッセージが披露され、やまと文化の森でも中継されました。

ジャングルジムは中庭に設置されており、11月27日に行われた贈呈式では、児童が早速新しい遊具に挑戦し、ジャングルジムを昇り降りしたり、すべり台を楽しんでいました。

ダイコンとったぞー!!

12月21日、中島小学校の１年生と２年生の12名で、大根の収穫を行いました。

これは生活科の「野菜を育てよう」という取り組みの一環で、種まきから水やり、成長の観察を行い、作物をつくることの大変さを体験しました。収穫した１年生の髙森 颯空（そうあ）君は「みんなで仲良く大根掘りができた。」、２年生の坂田 龍一朗（りゅういちろう）君は「中島小のお兄さんやお姉さんたちに自分たちが作った大根を美味しくいただいてほしい。」と感想を述べてくれました。

「蘇陽五ヶ瀬道路（蘇陽区間）」中心杭打ち式が開催

九州中央自動車道「蘇陽五ヶ瀬道路」は、山都町塩原から宮崎県五ヶ瀬町三ヶ所をつなぐ全長7.9kmの自動車専用道路です。今年度に事業化され、12月5日に蘇陽支所にて中心杭打ち式が開催されました。今後、道路整備の基準となる測量作業が本格的に始まり、完成すれば、現道である国道218号の急カーブや狭い道幅の不良個所を回避し、災害発生時には宮崎県北地域と熊本方面を結ぶ緊急輸送道路となります。式典には坂本哲志内閣府特命担当大臣をはじめ県選出国会議員、蒲島知事、熊本県議会議員、国土交通省九州地方整備局、山都町議会議員及び地元関係者が参加され、梅田町長からは関係者への感謝の言葉が述べられました。

通潤橋イルミネーションとサプライズ花火が行われました！

通潤橋では、令和2年12月9日から令和3年1月9日までの1カ月間、町内の民間企業のご厚意により約6万個のLEDライトを使った幻想的なイルミネーションが行われました。また、12月20日にはサプライズ花火とミニマルシェも行われました。これは、コロナ禍により八朔祭等多くの行事が開催できず寂しい思いをされている町内の皆さんに元気になってもらいたいという思いから、町内の有志の方々により企画されたもので、訪れた人達の心を和ませていました。

道の駅清和文楽邑で イルミネーションが点灯されました！

道の駅清和文楽邑では、令和2年12月1日から令和3年1月11日までイルミネーションが点灯されました。このイルミネーションは、商工会会員である清和地域活性化協議会の方々により実施され、今回は昨年よりも電球の数を増やしパワーアップ。より綺麗なイルミネーションが冬の夜空を彩り、幻想的な空間に包まれていました。

岩永製茶園の紅茶が２つの賞を受賞！

蘇陽地区の岩永製茶園さんが、11月に行われたジャパンプレミアムティーコンテスト2020にて「素晴らしい香りと味わいを具えた、卓越した風味の紅茶」として、最高の５つ星を受賞されました。

また、国産紅茶グランプリ2020でも「チャレンジ部門」にて銀賞を受賞されました。受賞茶は「これまでの国産紅茶にないウバフレーバーのような爽快で素晴らしい香りで、良質なボディ感を兼ね備えた紅茶」という評価でした。

岩永製茶園さんは、「これからも美味しい！と飲んで下さる皆様に感謝し、今後も山都町産の茶を全国にアピールできるように取り組みたい」と話されていました。

商品は山都町内の道の駅や岩永製茶園にて購入することができます。

第45回上益城郡町対抗駅伝大会

山都町選手団

区間賞を受賞した
仁田水竜太選手

12月13日、第45回上益城郡町対抗駅伝大会が開催されました。本大会は、御船町役場をスタートし、嘉島町、甲佐町を経て益城町陸上競技場をゴールとする８区間37.9kmのコースで、町の威信をかけ全５チームが競い合いました。

山都町チームは四連覇を目指して、全選手が必死の走りを見せましたが、惜しくも益城町に次ぐ2位でした。

また、個人賞として3区の仁田水竜太選手（矢部高校3年）が「区間賞」を受賞しました。

緑川森林組合合併20周年特別市

11月21日に、緑川森林組合の管轄が上益城郡・美里町・宇城市・宇土市と合併して20周年を記念した特別市が、金内の木材共販事業所において、開催されました。本町町有林や県有林をはじめ管内から切り出された杉、桧合わせて2,200㎥が出品され、最高値は㎥単価56,000円の約98,000円で競り落とされました。

今回の特別市には県外のみならず国外からも買付業者が来るなど、買付業者25社のほか関係者の見学もあり、来場者・出品量ともに普段の３倍となり、賑わいました。

坂田鉄太郎組合長は「緑川森林組合では間伐・全伐、買取など木材に関する相談等も受け付けています。間伐を行うと、木の間隔が空き枝が伸びる分、根も枝の分広がって張ります。根が張ることで木が倒れにくくなり山崩れも起こりにくくなり、防災に繋がります。お気軽にご相談ください。」と話されました。

肥後銀行浜町支店で『強盗対策訓練』を実施しました！

12月1日、山都警察署協力のもと、強盗に扮した2人の警察官が拳銃のようなものや刃物を持って職員を脅して現金を要求して逃走する想定の訓練が行われました。同銀行の河野賢吾支店長は、「非常にいい経験をさせてもらった。実際はロビーにお客様がいるので、人命を優先しながら対応したい」と話されました。山都警察署の宮本和明刑事生活安全課長は、「年末年始は事件や事故が多発するので、訓練を教訓に防犯意識を高めて欲しい。また、不審者を見かけた場合はすぐに通報をして欲しい」と呼びかけられました。

季節のお花でお出迎え　たくさんの温かい心に感謝！

山都町中央公民館のロビーに、毎日綺麗な生け花が飾られています。「定期的にお花が変わるけど、いったい誰が…？」と思っていた方もいらっしゃるのではないでしょうか？

これは、町内で生花店を営む山下岩男さん（下馬尾）が、ボランティアで定期的にお花を生けてくださっているものです。そして、山下さんから生け花を学ぶお弟子さん方が中央公民館を訪れ、お水や萎れてしまったお花の管理をされています。利用者や職員の心を楽しませて癒してくれます。中央公民館をご利用の際には、是非ご覧ください。